

# 2016 年天皇杯全日本選手権 各階級見どころ

## ◎男子フリースタイル

### 【57kg 級】

《2位》  
高橋侑希 (ALSOK)  
《3位》  
守田泰弘 (和歌山県教育庁)  
《4位》  
赤澤 岳 (日大クラブ)

荒木大貴 (玉名工業高等学校)  
有延大輝 (築上クラブ)  
井出光星 (専修大学)  
伊藤 優 (長崎県レスリング協会)  
岩澤 侃 (早稲田大学)  
大城一晟 (国士舘大学)  
川野陽介 (自衛隊体育学校)  
桑木 黎 (自衛隊体育学校)  
小柳和也 (山梨学院大学)  
坂本京太 (山梨学院大学)  
篠原洋介 (福岡大学)  
正保法史 (岡山県レスリング協会)  
田代拓海 (福岡大学)  
谷山拓磨 (京都八幡高等学校)  
成國大志 (青山学院大学)  
長谷川敏裕 (日本体育大学)  
藤田雄大 (青山学院大学)  
松井 稜 (中京高等学校)

昨年優勝でリオデジャネイロ・オリンピック銀メダルの樋口黎 (日体大) は 61kg 級に出場。6月の全日本選抜選手権優勝の中村倫也 (専大) は負傷欠場。同2位で2014年世界選手権5位の**高橋侑希 (ALSOK)**、昨年の大会で高橋を破って2位となった**川野陽介 (自衛隊)**との争いか。

若手では、全日本学生選手権優勝の**藤田雄大 (青山学院大)**、同2位の**長谷川敏裕 (日体大)**、藤田を破って全日本大学選手権を制した**井出光星 (専大)**、同3位の**小柳和也 (山梨学院大)**らが台頭するか。

2015年全日本学生選手権優勝の**大城一晟 (国士舘大)**、JOC杯 55kg 級優勝で世界ジュニア選手権5位の**田代拓海 (福岡大)**も上位に加わる力はある。

全日本学生選手権と国体の61kg級を1年生で制した**成國大志 (青山学院大)**がこの階級にエントリー。減量がうまくいけば優勝戦線に加わる可能性は十分だ。

## 【61kg 級】

《リオデジャネイロ 57kg 級 2 位》

樋口 黎 (日本体育大学)

《優勝》

有元伸悟 (近畿大学職員)

《2 位》

嶋江翔也 (日本体育大学)

《3 位》

船木拓也 (自衛隊体育学校)

《4 位》

松宮大樹 (山梨学院大学)

加賀谷廉 (自衛隊体育学校)

葛西飛駿 (国士舘大学)

苅部優希 (にいかわ総合支援学校教員)

菊地 憲 (秋田県レスリング協会)

木佐貫斎貴 (徳山大学)

高安直人 (高安組)

但野 航 (専修大学)

寺田光輝 (日本体育大学)

仁木陽介 (中京学院大学)

福田東記 (国士舘大学)

吉川航平 (早稲田大学)

吉澤拳斗 (専修大学)

リオデジャネイロ・オリンピック 57kg 級銀メダルの樋口黎 (日体大) に、昨年 2 位で今年 of 全日本選抜選手権優勝の有元伸悟 (近大職) が挑む。

樋口は全日本大学選手権でもこの階級の学生王者を破って優勝し、地力を見せている。有元は 12 月 10～11 日の非オリンピック階級の世界選手権に出場した。どう成長しているか。

全日本選抜選手権 2 位の嶋江翔也 (日体大)、全日本選抜選手権 3 位で全国社会人オープン選手権優勝の船木拓也 (自衛隊)、東日本学生春季新人選手権優勝で全日本大学選手権 3 位の福田東記 (国士舘大) らが、両選手の牙城に迫れるか。

## 【65kg級】

《優勝》

鴨居正和（自衛隊体育学校）

《2位》

田中幸太郎（阪神酒販）

《3位》

阿部宏隆（サコス）

《4位》

高谷大地（拓殖大学）

伊藤和真（専修大学）

乙黒圭祐（山梨学院大学）

川村倫平（拓殖大学）

金城希龍（自衛隊体育学校）

坂本侑之（拓殖大学）

田口大輔（九州共立大学）

中田 陽（日本体育大学）

初見智徳（山梨学院大学）

原口 央（国士舘大学）

藤波勇飛（山梨学院大学）

前田翔吾（クリナップ）

光永賢弘（同志社大学）

米澤 圭（早稲田大学）

昨年優勝の前田翔吾（クリナップ）、今年6月の全日本選抜選手権を制した鴨居正和（自衛隊）、同2位の田中幸太郎（阪神酒販）、国体で鴨居を破って優勝した藤波勇飛（山梨学院大）らの争い。藤波は70kg級で学生二冠も制覇しており、地力をつけている。

この階級の学生二冠を制した米澤圭（早大）、2014年世界7位で10月のドミトリー・コーキン国際大会（ロシア）で優勝した高谷大地（拓大）、昨年61kg級優勝の乙黒圭祐（山梨学院大）らの学生選手、全日本社会人選手権優勝の阿部宏隆（サコス）、同2位の金城希龍（自衛隊）らの社会人選手がどこまで上位に食い込めるか。

## 【70kg級】

《優勝》

多胡島伸佳（早稲田大学）

《3位》

伊藤 駿（早稲田大学）

《4位》

中村百次郎（日本体育大学助手）

井筒 諒（日本体育大学）

伊藤真也（国士舘大学）

大谷健輔（中央大学職員）

黒崎辰馬（福岡大学職員）

島袋慶生（日本体育大学）

進藤英樹（自衛隊体育学校）

杉本京介（東鷹高等学校教員）

高橋翔平（自衛隊体育学校）

玉岡拓海（福岡大学）

松尾侑亮（専修大学）

松田健悟（青山学院大学職員）

三輪優翔（和歌山北高等学校）

昨年優勝で、今年の6月の全日本選抜選手権も制した多胡島伸佳（早大）の連覇なるか。12月10～11日の非オリンピック階級の世界選手権（ハンガリー）に出場して5位入賞。その経験を生かせるか。

74kg級で全日本大学選手権2位の松尾侑亮（専大）、昨年3位で全日本社会人選手権優勝の中村百次郎（日体大助手）らが多胡島の壁を破れるか。

若手では、74kg級で高校3冠王を達成した三輪優翔（和歌山・和歌山北高）がどこまで上位に食い込めるか。

## 【74kg 級】

《リオデジャネイロ出場》  
高谷惣亮 (ALSOK)  
《優勝》  
奥井眞生 (国士舘大学)  
《2位》  
山崎弥十朗 (早稲田大学)  
《3位》  
保坂 健 (自衛隊体育学校)

浅井 翼 (拓殖大学)  
阿部侑太 (日本体育大学)  
岡崎一輝 (自衛隊体育学校)  
川畑孔明 (東洋大学)  
北村公平 (阪神酒販)  
木下貴輪 (山梨学院大学)  
中村圭志 (陸上自衛隊)  
藤永真孝 (隠岐島前高等学校教員)  
吉田隆起 (拓殖大学)

## 【86kg 級】

《2位》  
白井勝太 (日本大学)  
《3位》  
奈良部嘉明 (筑西広域消防本部)

石澤誠悠 (山梨学院大学)  
牛水瑞貴 (山梨学院大学)  
大山博貴 (明治大学)  
長 知宏 (国士舘大学)  
加藤一人 (日本文理大学)  
葉澤 謙 (自衛隊体育学校)  
櫻庭正義 (秋田県協会)  
内藤由良 (国士舘大学)  
福岡大知 (徳山大学)  
松坂誠應 (日本体育大学)  
松雪泰成 (専修大学)  
村山貴裕 (自衛隊体育学校)

オリンピック2大会連続出場の高谷惣亮 (ALSOK) が出場する。リオデジャネイロでメダル獲得はならなかったが、再スタートをしっかりと飾れるか。

挑む一番手には、全日本学生選手権で1年生王者に輝き、国体 86kg 級を制した山崎弥十朗 (早大) が挙げられよう。1階級上でも優勝する大学1年生の勢いには底知れない強さが感じられる。新旧交代を実現するか。

全日本選抜選手権優勝の奥井眞生 (国士舘大)、全日本社会人選手権優勝の保坂健 (自衛隊)、全国社会人オープン選手権優勝の北村公平 (阪神酒販)、国体優勝の浅井翼 (拓大)、全日本大学選手権優勝の木下貴輪 (山梨学院大) からも優勝を狙う実力は十分にある。

“高谷時代”に幕を引けるか。

全日本選抜選手権優勝の松本篤史はグレコローマンに転向。2根連続で学生二冠 (全日本学生選手権・全日本大学選手権) を制した松坂誠應 (日体大) が優勝候補の筆頭となろう。

全日本選抜選手権と全日本学生選手権2位の白井勝太 (日大) は体調不良で秋の大会を欠場した。どこまでコンディションが戻っているかが鍵。

全日本大学選手権2位の松雪泰成 (専大)、全日本社会人選手権優勝の葉澤謙 (自衛隊)、全国社会人オープン選手権優勝の村山貴裕 (自衛隊) らが優勝争いに加われるか。

## 【97kg 級】

《優勝》

赤熊猶弥 (自衛隊体育学校)

《2位》

園田 平 (拓殖大学)

《3位》

福井裕士 (自衛隊体育学校)

《4位》

安田 翔

(福井県立嶺南東特別支援学校教員)

石黒峻士 (日本大学)

倉中孔大 (福岡大学)

坂田龍星 (日本大学)

笹川久志 (新潟県中央工業高等学校職員)

執行優大 (福岡大学)

鈴木聖二 (岐阜工業高等学校職員)

中井伸一 (中大クラブ)

二ノ宮寛斗 (明治大学)

藤田祐輔 (神奈川大学)

細谷翔太郎 (警視庁第六機動隊)

山本康稀 (GEN スポーツアカデミー)

吉川裕介 (山梨学院大学)

階級を上げて全日本選抜選手権を制した**赤熊猶弥 (自衛隊)**、同2位で学生二冠 (全日本学生選手権・全日本大学選手権) & 国体王者の**園田平 (拓大)**、昨年2位の**山本康稀 (GEN スポーツアカデミー)** の三者による争い。赤熊が一日の長を見せるか。

全日本選抜選手権3位の**福井裕士 (自衛隊)**、全日本社会人選手権優勝の**細谷翔太郎 (警視庁)**、JOC杯96kg級優勝の**石黒峻士 (日大)**、2014年世界選手権代表で昨年3位の**鈴木聖二 (岐阜・岐阜工高職)** らが優勝戦線に加わることができるか。

## 【125kg 級】

《優勝》

山本泰輝 (拓殖大学)

《2位》

田中哲矢 (自衛隊体育学校)

《3位》

金澤勝利 (自衛隊体育学校)

《4位》

藤田悠矢 (中京学院大学)

津山丈証 (近畿大学)

宮内健太 (山梨学院大学)

宮原将裕 (大東文化大学)

村上佳児 (鮮ど市場)

村木孝太郎 (滋賀県警察)

山口直人 (徳山大学)

山本泰丈 (日本大学)

昨年の覇者で今年全日本選抜選手権優勝の**山本泰輝 (拓大)** が抜けていると思われたが、10月の国民体育大会では同2位の**田中哲也 (自衛隊)** が山本を下して優勝。その勢いを持ち込み、全日本初制覇なるか。山本がリベンジして2連覇を達成するか。

全日本選抜選手権3位の**金澤勝利 (自衛隊)** は国体で不覚を喫したが、巻き返すか。学生の2大会をともに3位だった**山本泰丈 (日大)** が優勝戦線に加われるか。

## ◎男子グレコローマン

### 【59kg 級】

《優勝》

文田健一郎（日本体育大学）

《2位》

田野倉翔太（クリナップ）

《3位》

桑山裕貴（専修大学）

《4位》

河本圭智（自衛隊体育学校）

新垣忠勝（自衛隊体育学校）

市岡克利（拓殖大学）

井上征洋（兵庫県レスリング協会）

大楠真太郎（神奈川大学）

太田 忍（ALSOK）

大谷康太（マルワジム横浜）

河名真寿斗（専修大学）

神田優人（山梨県立農林高等学校）

北岡佑介（日本体育大学）

清水早伸（自衛隊体育学校）

竹下雄貴（日本体育大学）

田中敬祐（徳山大学）

難波 陽（青山学院大学）

松井 涼（専修大学）

丸山智也（山梨学院大学）

光岡裕也（徳山大学）

山口秀斗（神奈川大学）

吉村拓海（早稲田大学）

リオデジャネイロ・オリンピック銀メダルの**太田忍（ALSOK）**がエントリー。実力を見せるか。

全日本選抜選手権優勝の**文田健一郎（日体大）**は、全日本大学グレコローマン選手権に続き、ゴールデンGP決勝大会（アゼルバイジャン）でも優勝した。6月のポーランドでの大会では太田を破っており、打倒太田の一番手。太田の牙城を崩すことができるか。

全日本選抜選手権2位の**田野倉翔太（クリナップ）**は、全日本社会人選手権優勝、ビル・ファーレル国際大会（米国）優勝と好調を維持。優勝を狙う実力は十分にある。

全日本学生選手権優勝の**河名真寿斗（専大）**は、全日本大学グレコローマン選手権は71kg級で優勝した実力の持ち主。優勝戦線に加わることができるか。

全日本選抜選手権3位の**桑山裕貴（専大）**、JOC杯55kg級優勝で世界ジュニア選手権銀メダルの**難波陽（青山学院大）**らの学生選手がどこまで食い込めるか。

## 【66kg 級】

《優勝》

高橋昭五（日本体育大学）

《2位》

澤田夢有人（日本体育大学）

《3位》

下山田培（日本体育大学）

《4位》

中橋 涼（日本体育大学）

岩本 巧（同志社大学）

宇井大和（早稲田大学）

遠藤功章（日本体育大学）

大平稜也（国士舘大学）

岡本侑士（九州共立大学）

影山大洋（日野レスリングクラブ）

川瀬克祥（岩手県体育協会職員）

小林大樹（日本体育大学）

齊藤 潤（自由ヶ丘学園高等学校職員）

瀬野春貴（日本体育大学）

中村拓磨（中津商業高等学校）

花井尊道（法政大学）

堀江耐志（徳山大学）

村上 椋（大森学園高等学校職員）

リオデジャネイロ・オリンピック代表の井上智裕は 71kg 級にエントリー。空いた座をだれが制するか。

昨年 2 位で全日本選抜選手権優勝の**高橋昭五（日体大）**、同 2 位の**澤田夢有人（日体大）**、国体優勝でビル・ファーレル国際大会（米国）も制した**川瀬克祥（岩手県体協）**、ピトラスンスキ国際大会（ポーランド）で銅メダルを取り全日本学生選手権優勝の**下山田培（日体大）**、全日本大学グレコローマンを 1 年生で制した**宇井大和（早大）**にチャンスがある。

## 【71kg 級】

《2位》

山本貴裕（日本体育大学）

《3位》

花山和寛（自衛隊体育学校）

《4位》

小路直頌（自衛隊体育学校）

泉 武志（一宮グループ）

井上智裕（三恵海運）

上村優也（福岡大学）

魚住彰吾（専修クラブ）

大山允長（青山学院大学）

神田航也（大東文化大学）

倉野真之介（横浜市消防局）

近藤達矢（専修クラブ）

近藤雅貴（警視庁第六機動隊）

下地恵永（専修大学）

菅原翔太（福岡大学）

寺田靖也（明治大学）

富塚拓也（群馬県レスリング協会）

森 俊樹（九州共立大学）

リオデジャネイロ・オリンピック 66kg 級 5 位の井上智裕（三恵海運）がこの階級にエントリー。本来 71kg 級の選手で、2014 年に優勝している。元の階級でオリンピックの実力を見せるか。

井上とオリンピック代表を争った 2015 年世界選手権代表の泉武志（一宮グループ）は、昨年の大会で負った負傷も回復し、国体 66kg 級 3 位、全国社会人オープン選手権 75kg 級優勝と復活を遂げた。井上との対戦が注目される。

2015 年世界選手権代表の花山和寛（自衛隊）、全日本選抜選手権 2 位の山本貴裕（日体大）、全日本社会人選手権 2 位の近藤雅貴（警視庁）らが優勝争いに加わることができるか。

## 【75kg 級】

《優勝》

阪部 創（自衛隊体育学校）

《3位》

宇野寿倫（日本体育大学）

《4位》

櫻庭功大（拓殖大学）

奥田海人（明治大学）

亀井竜昇（自衛隊体育学校）

香西順平（高松養護学校教員）

齋藤隼佑（早稲田大学）

澤田 航（中京学院大学）

林 雷（日本体育大学）

北條良真（高松農業高等学校）

屋比久翔平（日本体育大学）

昨年優勝で、今年は国体で優勝し、80kg 級で学生二冠の屋比久翔平（日体大）が優勝候補の筆頭。2014・15 年の学生王者で今年の全日本選抜選手権優勝の阪部創（自衛隊）が挑む。非オリンピック階級の世界選手権（12 月 10～11 日、ハンガリー）80kg 級に出場したので、コンディショニングはどうか。

全日本学生選手権優勝の宇野寿倫（日体大）、JOCジュニア選手権 74kg 級優勝で全日本大学グレコローマン選手権も制した櫻庭功大（拓大）、2015 年全日本社会人選手権優勝の亀井竜昇（自衛隊）らが両者の闘いに割って入れるか。



## 【80kg 級】

《優勝》

前田祐也（鳥取県立武道館）

《2位》

小林隆介（拓殖大学）

《3位》

江藤紀友（辻屋質店）

東 桂佑（神奈川大学）

石田裕賢（岐南工業高等学校職員）

榎本凌太（同志社大学）

加賀谷庸一朗（和歌山県教育庁）

関口 巡（福岡大学）

鶴田峻大（自衛隊体育学校）

勅使川原延明（日本体育大学）

中崎強介（九州共立大学）

野崎竜陽（中京学院大学）

花山尚生（福岡大学）

堀江一馬（早稲田大学）

守部克秀（青山学院大学）

## 【85kg 級】

《優勝》

天野雅之（中央大学職員）

《2位》

角 雅人（自衛隊体育学校）

《3位》

岡嶋勇也（警視庁警察学校）

《4位》

西山慎吾（日本体育大学）

塩川貫太（日本体育大学）

塩地竜児（釣谷商店）

島田 樹（帝塚山大学）

谷口慧志（拓殖大学）

永井基生（明治大学）

服部弘慶（拓殖大学）

平才巧晃（中京学院大学）

藤井達哉（青山学院大学）

松本篤史（ALSOK）

山岸将大（日本体育大学）

与那覇竜太（専修大学）

2015年世界選手権代表で今年的全日本選抜選手権優勝の前田祐也（鳥取県立武道館）が2連覇を目指す。全日本社会人選手権でも勝っているが、全国社会人オープン選手権では鶴田峻大（自衛隊）に不覚。昨年3位の鶴田が初の栄冠を獲得するか。

全日本学生選手権2位の東桂佑（神奈川大）、全日本選抜選手権2位の小林隆介（拓大）、2014年世界選手権71kg級代表の江藤紀友（辻屋質店）らが優勝戦線にからむことができるか。

2014年世界選手権8位で今年的全日本選抜選手権優勝の天野雅之（中大職）に挑むのは、同2位の角雅人（自衛隊）、フリースタイルから方向転換し国体で角を破った松本篤史（ALSOK）、全日本社会人選手権優勝の岡嶋勇也（警視庁警察学校）、学生2冠王の塩川貫太（日体大）など。だれもが優勝の可能性を持つ。

全日本選抜選手権4位の西山慎吾（日体大）、全日本学生選手権2位の谷口慧志（拓大）、JOC杯ジュニア84kg級優勝の藤井達哉（青山学院大）の若手選手の台頭はあるか。

## 【98kg 級】

《優勝》  
奈良勇太（日本体育大学）  
《2位》  
山本雄資（警視庁第六機動隊）  
《3位》  
木下 駿（自衛隊体育学校）  
《4位》  
前川勝利（HRC）

有菌拓真（ALSOK）  
大坂 昂（三菱電機）  
近藤千加良（国士舘大学）  
志喜屋正明（自衛隊体育学校）  
竹内亮亘（帝塚山大学）  
中村隆太（東洋大学）  
三浦庶宏（自由ヶ丘学園高等学校）  
宮國雄太（国士舘大学）  
宮原尚之（中京学院大学）  
山下拓也（拓殖大学）  
横井健人（松岡コンクリート工業）

## 【130kg 級】

《優勝》  
園田 新（拓殖大学）  
《2位》  
谷田昇大（和歌山県教育庁）  
《3位》  
河野隆太（金沢屋）  
《4位》  
貝塚賢史（山梨学院大学）

伊藤 昌（国士舘大学）  
伊藤匠汰（青山学院大学）  
黒木柁統（東洋大学）  
執行大海（日本文理大学）  
曾我部健（日亜化学工業）  
津田大健（宇和島市役所）  
日坂侃生（中央大学）  
矢野遙己（徳山大学）

昨年の1、2位は引退。同3位の**奈良勇太（日体大）**が、今年は今JOC杯ジュニア96kg級、全日本選抜選手権、全日本学生選手権、全日本大学グレコローマン選手権と優勝を続けた。国体でつまずいたが、立ち直って初の日本一なるか。

全日本選抜選手権は不調だったが、2014年アジア選手権2位の**大坂昂（三菱電機）**が国体優勝と復調してきた。全日本選抜選手権2位の**山本雄資（警視庁）**も優勝を狙う実力はある。

全日本選抜選手権3位の**木下駿（自衛隊）**、全国社会人オープン選手権優勝の**志喜屋正明（自衛隊）**、全日本大学グレコローマン選手権2位の**宮國雄太（国士舘大）**らの上位進出なるか。

2014年から全日本の2大会（全日本選抜選手権、全日本選手権）と国体を制している**園田新（拓大）**の優位は動くまい。学生生活最後の大会を圧勝続きで勝って3連覇し、来年へつなげられるか。

昨年2位の**津田大健（宇和島市役所）**、全日本選抜選手権2位の**谷田昇大（和歌山県教育庁）**、同3位の**河野隆太（金沢屋）**、全日本学生選手権2位の**貝塚賢史（山梨学院大）**らがその牙城に迫れるか。

## ◎女子

### 【48kg 級】

《優勝》

須崎優衣

(JOC エリートアカデミー/安部学院高校)

《2位》

入江ゆき (自衛隊体育学校)

《3位》

五十嵐未帆 (至学館大学)

《4位》

中村未優 (埼玉栄高等学校)

伊藤史織 (ジャパンビバレッジ)

内城陽夏 (至学館大学)

岡本佳子 (日本体育大学)

奥野里菜 (至学館大学)

加賀田葵夏 (青山学院大学)

佐藤雛子 (安部学院高等学校)

澤田千優 (青山学院大学)

志土地希果 (ジェイテクト)

高ノ山美香 (岐阜工業高等学校職員)

田口あい (日本体育大学)

山田海南江 (自衛隊体育学校)

吉村涼菜 (埼玉栄高等学校)

### 【53kg 級】

《優勝》

向田真優 (至学館大学)

《2位》

矢後佑華 (警視庁警察学校)

《3位》

宮原 優 (東洋大学)

《4位》

内城朝葉 (至学館大学)

五十嵐彩季 (星城高等学校)

入江ななみ (九州共立大学)

奥野春菜 (久居高等学校)

東川加奈 (安部学院高等学校)

堀 千咲 (安部学院高等学校)

與那嶺優里 (日本文理大学)

全日本選抜選手権優勝の須崎優衣 (JOC エリートアカデミー/東京・安部学院高) は、その後、インターハイ、世界カデット選手権、国体と負け知らず。その勢いを打ち込めるか。

昨年優勝の入江ゆき (自衛隊) は全日本選手権決勝で敗れたリベンジに挑む。同3位の五十嵐未帆 (至学館大) は世界ジュニア選手権で優勝、ゴールデンGP決勝大会2位と国際舞台を経験して実力養成。初の日本一を目指す。

昨年4位の加賀田葵夏 (青山学院大) はアジア・ジュニア選手権や全日本学生選手権で優勝を重ねた。優勝戦線に浮上できるか。

全日本選抜選手権優勝で、世界ジュニア選手権に続き、世界選手権も制した向田真優 (至学館大) が一気に日本一を奪い取るか。

昨年、登坂絵莉に惜敗して2位の入江ななみ (九州共立大) がどう闘うか。全日本学生選手権と全日本女子オープン選手権を制して勢いはある。全日本選抜選手権2位の矢後佑華 (警視庁警察学校) は11月のビル・ファーレル国際大会 (米国) 優勝と力を見せた。

負傷が完治した2013年世界選手権51kg級代表の宮原優 (東洋大) の巻き返しはあるか。

## 【55kg 級】

《2位》

角谷萌々果（至学館大学）

《4位》

澤葉菜子（至学館高等学校）

木村安里（群馬大学）

倉館 愛（日本大学）

酒井美沙紀（自衛隊体育学校）

谷山菜緒（法政大学）

南條早映

（JOC エリートアカデミー/安部学院高校）

松見千都彩（環太平洋大学）

## 【58kg 級】

《リオデジャネイロ 63kg 級優勝》

川井梨紗子（至学館大学）

《優勝》

浜田千穂（キックマン）

《2位》

熊野ゆづる（安部学院高等学校）

《3位》

花井瑛絵（至学館高等学校）

小林奏音（早稲田大学）

今 佑海（日本大学）

成國琴音（文化学園大学杉並高等学校）

樋口美賀子（環太平洋大学）

三浦由起子（法政大学）

全日本選抜選手権優勝の菅原ひかりは不出場。同2位の**角谷萌々果（至学館大）**が全日本学生選手権優勝、ゴールデンGP決勝大会優勝と実力を見せている。優勝候補の一番手と考えられる。

2015年アジア選手権優勝、世界選手権7位の**木村安里（群馬大）**が意地を見せられるか。全日本社会人選手権優勝の**倉館愛（日大）**、全日本女子オープン選手権優勝の**松見千都彩（環太平洋大）**らが優勝戦線にからむことができるか。

若手では世界カデット選手権優勝の**澤葉菜子（至学館大）**とインターハイ・チャンピオンの**南條早映（JOCエリートアカデミー/東京・安部学院高）**に注目。

リオデジャネイロ・オリンピック63kg級優勝の**川井梨紗子（至学館大）**がこの階級にエントリー。本来の階級だけに、優勝候補の筆頭と言えよう。

2014年世界選手権55kg級優勝で今年の本全日本選抜選手権優勝の**浜田千穂（キックマン）**が、どう闘うか。ゴールデンGP決勝大会（アゼルバイジャン）では不覚を喫したが、再スタートを飾りたいところ。

同2位の**熊野ゆづる（東京・安部学院高）**、アジア選手権5位の**樋口美賀子（環太平洋大）**、全日本社会人選手権優勝の**三浦由起子（法大）**らが優勝争いに加われるか。

## 【60kg 級】

《優勝》

坂野結衣（日本大学）

《2位》

香山芳美（早稲田大学）

今井海優（海洋高等学校）

榎本美鈴（環太平洋大学）

川井友香子（至学館大学）

河内美樹（日本体育大学）

齋藤ほのか（安部学院高等学校教員）

坂上嘉津季（ALSOK）

増山汐音（西邑楽高等学校）

矢後愛佳（日本大学）

米田野乃佳（至学館大学）

全日本選抜選手権優勝の坂野結衣（日大）と、負傷からカムバックした2014年世界選手権代表の坂上嘉津季（ALSOK）の争いか。坂野は12月10～11日の非オリンピック階級世界選手権に出場して5位。激戦の疲れをはねのけて栄冠を勝ち取れるか。

昨年2位でジュニアクイーンズカップ優勝の川井友香子（至学館大）が負傷による戦線離脱から復帰参戦する。どの程度回復しているか。万全なら優勝争いに加わる力は十分。

全日本選抜選手権4位の香山芳美（早大）、全日本女子オープン選手権優勝の河内美樹（日体大）らの台頭はあるか。

## 【63kg 級】

《2位》

源平彩南（至学館大学）

《4位》

佐藤喜歌（自衛隊体育学校）

伊藤彩香（東新住建）

伊藤友莉香（自衛隊体育学校）

今井栞海（同志社大学）

小玉彩天奈（高知東高等学校）

三輪奏歩（安部学院高等学校）

昨年優勝の伊藤彩香（東新住建）は11月のビル・ファール国際大会（米国）優勝、ゴールデンGP決勝大会（アゼルバイジャン）60kg級3位と国際大会で実力を養成。昨年2位の源平彩南（至学館大）もアジア・ジュニア選手権と世界ジュニア選手権の両大会で勝ち、ゴールデンGP決勝大会3位と国際大会を経験。両者の優勝争いとなるか。

2014年の覇者で、けがによる長期離脱からカムバックした伊藤友莉香（自衛隊）が、どこまで回復しているか。以前の実力が戻っていれば、優勝戦線に加わることはありうる。

全国社会人オープン選手権優勝の佐藤喜歌（自衛隊）、全日本学生選手権優勝の今井栞海（同志社大）が両者の闘いに割って入れるか。

世界カデット選手権60kg級優勝の小玉彩天奈（高知・高知東高）が、どこまで上位に食い込めるか

## 【69kg 級】

《リオデジャネイロ大会優勝》

土性沙羅（至学館大学）

《2位》

森川美和（安部学院高等学校）

《3位》

松雪成葉（至学館高等学校）

朝野未紗（東洋大学）

上原榛奈（ハイパー）

歌田圭純（埼玉西部消防局）

木村夕貴（青山学院大学）

進藤芽伊（香ヶ丘リベルテ高等学校）

鈴木芽衣（東洋大学）

早川まい（至学館高等学校）

吉井瑞江（自衛隊体育学校）

リオデジャネイロ・オリンピック優勝の土性沙羅（至学館大）がエントリー。67kg 級時代から通じて5年連続優勝を目指す。オリンピック・チャンピオンの力を見せてくれるか。

全日本選抜選手権優勝の古市雅子は75kg 級に出場。同2位の森川美和（東京・安部学院高）、同3位の松雪成葉（愛知・至学館高）、全日本女子オープン選手権優勝の鈴木芽衣（東洋大）ら若手選手の中からだれが浮上するか。

## 【75kg 級】

《優勝》

鈴木博恵（クリナップ）

《2位》

松雪泰葉（至学館高等学校）

《3位》

馬場菜津美（自衛隊体育学校）

《4位》

阿部梨乃（日本大学）

齋藤未来（日本文理大学）

土橋奏珠（至学館大学）

福島宇美（安部学院高等学校）

古市雅子（日本大学）

全日本選抜選手権優勝の鈴木博恵（クリナップ）に、2月のアジア選手権（タイ）2位で全日本学生選手権優勝の阿部梨乃（日大）、カデットとジュニアを通じて6年連続世界一を実現し、全日本選抜選手権69kg 級優勝、11月のゴールデンGP決勝大会（アゼルバイジャン）69kg 級優勝の古市雅子（日大）が挑む。

古市は昨年のこの階級で3位だった。ベテランの鈴木が追い上げてくる選手を退けられるか。阿部は体調不良でゴールデンGP決勝を棄権した影響はどうか。

全日本選抜選手権2位の松雪泰葉（愛知・至学館高）、同3位の馬場菜津美（自衛隊）らが浮上できるか。